

# 地域密着型サービス事業者 自己評価表

( 認知症対応型共同生活介護事業所・小規模多機能型居宅介護事業所 )

事業者名	グループホームハッピーヴィラしんまち	評価実施年月日	平成20年10月1日
評価実施構成員氏名	土井 鈴木 武田 林 切山 嶋村 境田 三浦		
記録者氏名	管理者 土井 富美子	記録年月日	平成20年10月

北海道

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念の共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>地域に根ざしたグループホームをモットーに少しでも地域の皆様方と交流を図りながら又 誰しもが安心して暮らせる地域を目指し、地域の方々、入居者様への個人の尊重を意識した理念を元に日々取り組んでいる。</p>	
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>理念(個人の尊重)を意識し常にカンファレンス時に話し合い又、月の目標にも似た様な形式(入居者様と多く関わる)を取り入れ実践をしている。</p>	
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。</p>	<p>運営推進会議や回覧板などで行事や催しのお知らせをし来所して頂きコミュニケーを図りながら慣れ親しんだ環境に安心して住める地域作りをに取り組んでいる。</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>玄関前に行事のお知らせボードを示しお気軽にお立ち寄り下さいと示している。又、屋外焼肉時で地域の方々に呼びかけ、お気軽に寄って下さいなど話している。</p>	
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>地域の保育園でのバザーなど参加</p>	<p>都合を出来るだけ合わせ積極的に地域活動に参加をし、より多くの方々と交流を図って行けるようにする。</p>
6	<p>事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>町内会長と話し合った結果、ハッピーヴィラでの催しを回覧板にてお知らせをしハッピーヴィラにて交流会を広めて行ってほしいとの事であった。</p>	<p>行事、催しなどお知らせをしているが当館へ来られる方は少ない事もあり、もう少し身近に関わって行ける行事や町内会長や民生委員の方々や役立てる事、深く関われる事などについて話し合っゆきたい。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用			
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>		
8	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>		
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>		<p>今、現在必要性があるないにしろ関わらず、学ぶ機会を持ち何時でも適用、活用出来る様に努めたい</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>		
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>		<p>ご本人様の生活状況を元にご家族の意見や不安など伺い、ご本人様にとっての良い生活状況又、ご要望に応えられるよう出来る限りの支援をさせて頂く事を話し理解を得ている。</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>13 運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>入居者様とご家族様と情報交換や意見など伺いサービス向上に努めている。</p>		
<p>14 家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。</p>	<p>利用料投函時や電話などで常に報告をしている</p>		
<p>15 運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>主に管理者がご家族様より伺っている場が多い</p>		<p>ご家族様と他職員が今よりも話せる場を設け、多数の意見を持ちいて考慮しサービス向上に努めたい</p>
<p>16 運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>ミーティングや業務時、職員の意見を伺い業務遂行サービスに反映させている</p>		
<p>17 柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。</p>	<p>各職員の要望など伺い調整をしている。又、お出掛けレクリエーション時など職員多数揃い業務遂行が図りやすいようにしている。</p>		
<p>18 職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。</p>	<p>頻繁な移動等はなく、ご家族様とも馴染みの関係が保てるようになっている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援			
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>同じ系列同士で3ヶ月に1回会議とスタッフ育成の為に勉強会を開き、又情報交換を行う予定。他、1ヶ月に1度在宅ケア学会の勉強会に参加をしている。(参加出来る時のみ)</p>	
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>地域同業者と接する機会が少なく交流を図れておらず。</p>	<p>交流を図れる目的で情報交換等行い地域活性化に向けて一緒に取り組む姿勢を持ちたい。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>何時でも状況が伺える環境になっている。又、意見等から話し合い働きやすい環境作りに努めている。</p>	
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>外部研修に参加をさせて頂き各職員、常に勉強が出来る環境がある。</p>	
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>常に、ご本人様と話す機会を設け意見を訊いている。個別に話しを伺ったりしながら気分が安定される様、話を受容、共感を持ち対応をしている。</p>	
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>来所時や電話などで話す場を設け意見など伺っている。</p>	

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	各協力機関とも話し合い状況に合わせた対応をしている。		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	サービス内容(ケア内容)についてご家族様と話し合い意見を取り入れながらサービス向上に努めている。又、個別に対応させて頂いた上でご本人様に合った環境作りをしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	共同作業(物を作ったり)お茶時や個別に会話を持ち、話しやすい環境、家族に近い環境作りを意識しながら対応している。又、教えて頂きながら尊意の程を示し、気分向上されるよう対応している。		
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	ご本人様にとって良い状況や要望などご家族様と常に話し合い取り組んでいる。ご家族様の情報を交えながら		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	入所される迄のご本人様の状況やご家族様との関係を伺い、お互いの意見を伺い、交えながらより良い関係が保てる様、配慮しています。		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご本人様の要望や楽しみ事を出来る限り叶えられる様、ご本人様の楽しみ事、(月に1度のお食事会)への参加をされている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	各入居者様の様子を把握し苦手な方へはなるべく近くにならないよう(お出掛けレクや共同作業など)配慮をしている。		
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	葉書きなどで連絡を取り合っている。		
その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	各入居者様の思いや要望を把握し出来るだけ添うように努めている。又、個別に会話をする機会を設け伺い、日常生活に反映出来る様にしている。		
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご家族様やご本人様に生活歴やサービス利用について伺い、現在の生活に活かせる様、ケア内容を考慮したりと情報収集に努めている。		
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	ご本人様の意向を重視し無理に作業参加促しをしないよう、各入居者様の生活ペースに合わせた促しをしている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している。	ご本人様の生活状況を把握し又、要望など伺いながら、各職員間、ご家族様とケア内容について話し合い意見を交えながら介護計画を作成している。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し  介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監視のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	計画書見直し以外に24時間シートを2週間行い要因を把握した上で新たな対応策を考慮し取り組んでいる。		
38 個別の記録と実践への反映  日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	対応が必要な結果、内容が2週間記録されていた事をめどに介護計画の見直しをしている。24時間アセスメントシートを2週間おこない要因を把握した上で介護計画の見直しに活かしている。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援  本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	入居者様が月に1度の集まり会へ行かれた際、ご家族様、送迎が困難な時、変わりに送迎を行えるようにしている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働  本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	民生委員の方々、地域の方にも声を掛け1月に消防署の方へ火災状況について説明会を依頼し開催。又、7月にボランティア(ダンス)の方々を招いてダンスパーティーを行った。他、7月に地域包括支援センターの所長に運営推進会議に参加して頂き取り組み内容について話して頂いた。		
41 他のサービスの活用支援  本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	地域のサービス事業者等は連携が図れておらず。		今後情報交換等を交えながら連携を図ってゆける様にする。
42 地域包括支援センターとの協働  本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	具体的な内容(権利擁護)などについて話し合う機会がなく、7月の運営推進会議にて地域包括センターの所長を招いて活動内容等について伺った。		今後権利擁護やケアマネジメントについて話し合い地域の活性化他、ケアサービスに活かされるよう支援センターと話し合い、深く連携を図ってゆける様にする。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	1ヶ月に一度の在宅診療にて適切な指導、診察を受け入居者様、ご家族様に診察結果について話し意見や疑問に思う事などについて再度先生や看護師さんと話し合い、身体健康管理をしている。		
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	担当医と相談をしながら治療経緯について話し合い、ご家族様の意見などを交えながら、その時々のお入居者様の状況に合わせた診断、指示を仰いでいる。		
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	在宅診療の看護師さんと常に話し合い相談をしながら健康管理に努めている。		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	常に看護師さんや相談員、各機関、ご家族様と入院中の状況や退院後の生活の拠点について話し合いその時の生活状況に合わせられるようにしている。		
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	ご本人様の身体状況の経過からご家族や担当医、職員一同で何度も話し合い、ご本人様にとって良い生活の拠点を考慮し方針を決めた		
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	出来る事と出来ない事の見極めをし担当医や看護師さんと話し合い指示をいただきながら取り組んでいる。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>住替え時の協働によるダメージの防止</p> <p>49 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。</p>	<p>ご本人様の身体状況経過から今後の生活の拠点についてどのようにしたら良いか？ご家族、担当医等と話し合い、ご本人様の状況に合わせた生活の拠点を決定した。</p>		
<p>. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</p> <p>1. その人らしい暮らしの支援</p> <p>(1) 一人ひとりの尊重</p>			
<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>50 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。</p>	<p>個人の尊重を意識しながら対応しているが親しみ感を持ちたいがゆえに馴れ馴れしい対応になっている所もある。</p>		<p>常に尊重、人生の先輩を意識しながら馴れ馴れしい対応にならぬよう心がけているが多方面から見ると、わきまえた対応がされていないように思われている事も考えながら今一度各自、対応面について常に見直しをしてゆきたい。</p>
<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>51 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。</p>	<p>ご本人様の様子を伺い、思っていることなど話していただき、意思を交えながら納得のゆくよう説明をしている。</p>		
<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>52 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。</p>	<p>出来る限りその時々のご本人様の要望に応えられるよう配慮している。</p>		
<p>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</p>			
<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>53 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている。</p>	<p>ご本人様の行きつけの美容院などご家族様のご協力により(送迎など)おこなっている。</p>		
<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>54 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。</p>	<p>一緒に作業をさせて頂くことにより常に気分が安定されるよう、会話をしながらご本人様の様子、状況を診ながら一緒に準備等行っている。又、各入居者様の好みや嫌いな物を把握し伺いながら盛り付けをしている。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	夜、食事の際、晩酌(1杯)、健康管理を元に又、タバコは職員のすぐ側で喫煙をして頂いている。		
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	2時間おきにトイレ誘導、パット交換を会話を用いて促し、自尊心を傷つけぬよう配慮しながらおこなっている。		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	週3回のうち、入浴をしたい日に入れるようにしている。又、仲の良い方と一人で入りたい方を配慮しながら入浴をされるようにしている。		
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	様子、状況を見ながら無理な声かけやお誘いはせずに対応している。又、不安等あるなら会話をもち安心して眠れる様にしている。		
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	各、入居者様の趣味を把握し(縫い物や習字、野菜のスジ取りなど)活かせられる様、配慮している。		
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	個人でお金を所持出来る方はご家族様とご本人様と限度額について話し合ってから所持をされている。		

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	数人で買い物へ行ったり馴染みの場所へ行ったりと出来る限り希望に添うように配慮している。		
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	行きたい場所を伺い出来る限り希望に添うように個別ケアを重視している。		家族と共に又、利用者と共に旭山動物園に行きたいと言われているので取組んで行きたい。
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご本人様が電話をかけたい時など電話介助をしその後、通話ができるよう配慮している。又、短文で絵手紙(ハガキ)に取り組んでいる。		
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	来所時、行事や催しなどを話し気軽に来所できるよう配慮している。		限られたご家族様、知人の方しか訪れず。今後來客を増やしたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	スタッフ会議などでグループホームにおける身体拘束になりえる事や拘束の意味を深く勉強し日頃のケアの見直しをおこなった。		
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	拘束や虐待について勉強会を行い、熟知をした上で日中見守りを重視し鍵をかけるはならず。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>利用者の安全確認</p> <p>67 職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>陰ながら見守りし、必ず1人は入居者様の見守りが出来るようにしている。ご本人様に不可解な思いをさせぬよう様子確認をしている</p>		
<p>注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>68 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>居室見回りや館内の物、場所の配置において危険性や不備な箇所を話し合い改善をしている。</p>		
<p>事故防止のための取り組み</p> <p>69 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>各入居者様に合わせた対応や注意点についてヒヤリハットを行い話しているが十分な知識や対応策について熟知出来ておらず。</p>		<p>今後多方面からの危険性などについて考慮し話し合い事故防止に努められる様にする。</p>
<p>急変や事故発生時の備え</p> <p>70 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>毎年救命講習を受け応急手当に備えている。</p>		<p>救命講習は受講しているが、急な対応時に各職員素早い応急処置を思い出し、対応出来るか、今後いざという時の対応講習会を定期的に行って各自自信を持った対応出来るようにする。</p>
<p>災害対策</p> <p>71 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>運営推進会議の時など災害時における協力について話し合ってきているが利用者様をどのように避難をさせるかについては具体的に話してはならず。毎年避難訓練をおこなっている上での避難対応については話している。</p>		<p>利用者様をどのように避難誘導をしその後何処に待機していただくかなど具体的に話し合い考慮してゆきたい。</p>
<p>リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>72 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。</p>	<p>階段昇降時についての様子や対応や各入居者様の身体状況を元に経過や対応策について話している。又、ご家族様と一緒に考慮しながら取り組んでいる。</p>		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73	<p>体調変化の早期発見と対応</p> <p>一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。</p>	<p>常に気づきと様子観察を重視し各職員に情報を話し出来る限りの対応をさせていただいた上で看護師に報告をし、指示を仰ぎ対応している。</p>	
74	<p>服薬支援</p> <p>職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬の効能についておんど版に記入をしながら熟知しまた、看護師さんと話し合い支持を仰いだ上で調整をしたりしながら様子の変化確認をしている。</p>	
75	<p>便秘の予防と対応</p> <p>職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。</p>	<p>排便兆候が暫く診られない時は軽い運動をしたりとご本人様の様子を伺いながら促しをしているが具体的に便秘の原因についての熟知は出来ておらず。</p>	<p>便秘の原因について勉強をし、便秘予防対策など考慮してゆく</p>
76	<p>口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れやおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアの促しをし自力で行える所迄は行っていただき、出来ない所はお手伝いをさせていただいている。</p>	
77	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>水分摂取量を把握しながら摂り過ぎないように湯のみを小さな物に変えて飲用を勧めたり、又、むせ込みが強い方には飲用時ストローやスプーンなどを付け、むせ込み予防が出来るよう配慮している。</p>	
78	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>多数の感染症について勉強はしたが具体的な予防対策は出来ておらず。</p>	<p>出来る範囲での予防対策は行っているが具体的な予防対策内容は出来ておらず。今後具体的に感染症について勉強をし、各感染症に合わせた予防対策を考慮してゆく。</p>

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
79	<p>食材の管理</p> <p>食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。</p>	常に台所用品等、漂白をしたりと衛生管理面について話し合い行っている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	<p>安心して出入りできる玄関まわりの工夫</p> <p>利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。</p>	玄関に行事や催しなどをボードに記載をし、お気軽にお立ち寄り下さいなどの記載をしている		外玄関や建物周辺等、ご家族様や近隣の方達がもっと親しみやすさを感じて頂ける様な演出を考慮してゆきたい。
81	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	脱衣所には入浴の絵を飾り、玄関や廊下には季節感を思わせる風景の貼り絵などを飾り、和やかな感じを演出をしている。		
82	<p>共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	2F廊下にベンチと本棚を置き一人で本を読んだり歩行運動の際に休める空間を演出。又、玄関にはベンチを置き他者と触れ合ったり一人で過ごせる様な環境を演出している。		
83	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	自宅で使用されていた家具やその都度物が必要になった際、ご本人様、ご家族様と相談の上、考慮し居心地よく過ごせるような環境作りをしている。		
84	<p>換気・空調の配慮</p> <p>気になるにおいや空気の様子がないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。</p>	空気の入替え時など常に、入居者様に伺い(寒くないか)換気をしている。		

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>		
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>		
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんど掴んでいない</p> <p>日頃の会話から伺っているが全入居者様の思いをわかっていない所もある。</p>
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<p>毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない</p> <p>午前と午後のお茶時や就寝前他、週3回のお風呂のない日など入居者様と関われる時間をもっている。</p>
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>居室やラウンジで休まれていたりと各自のペースで過ごされている。</p>
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>利用者様、自ら何かする事はないか？お手伝いのあと楽しませてくれて(話)でありがとう、楽しかったわなど、他、会話の中から一緒に笑っている時の表情が生き生きとして楽しそうな様子がみられます。</p>
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>月に1回お食事会へ行かれたり、馴染みの場所へ一緒に行ったりと自己の希望通り、行動ができていると思う。</p>
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>薬に対する依存が強い入居者様について先生やご家族様と話しあい納得された。</p>
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<p>ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない</p> <p>状況によって要望をすぐに叶えてあげられない時もある。安全面においては常に職員間で話し合いながら取り組んでいるので安心して暮らせているのではないかと思います。</p>
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<p>ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない</p> <p>入居者様が私達に話されない事などご家族様より情報を得て今後の対応策について話し合っています。</p>
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<p>ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない</p> <p>入居者様の知人は来所されている。地域の方々とは頻繁ではないがリングプールを数回持ってきて下さっている。</p>

. サービスの成果に関する項目			
項目		取り組みの成果	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない	地域の保育園との交流が深まりバザーや緑日などの情報をいただき見に行かせてもらった。
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない	各職員、考えていることや思っていることを話せる場を設け働きやすい職場作りをしている。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない	お出かけしたい時やすぐに出かけられない時などは満足されていないと思います。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない	ご家族様より教えていただいたご本人様の情報を元にケア内容を考慮しているが、ご家族様の意向に添えていない所もあるのではないかと思います、わからず。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載) ・各入居者様の要望を出来るだけ叶えられるよう週3回の入浴日以外に余暇時間を作り個別対応を重視した取り組み(行きたい所を伺い一緒にお出かけをしたり)行っています。又、地域の方達と触れ合う場面が持てるよう、当館にて説明会を主催したり地域の新聞店さんと連携しリングブルを集め、地域住民の方達に回覧板で呼びかけたり、内玄関にはボードに催しを記載したりと、地域やご家族様、より多くの方達と触れ合える場面を作り呼びかけています。